

実践女子大学「国際理解とキャリア形成」企業連携授業 ～4年目の成果が7月17日に!～

実践女子大学(東京都日野市、学長 城島栄一郎)は、来月7月17日(月)に、東京オリンピック・パラリンピックについて様々な視点から考えるキャリア教育科目「国際理解とキャリア形成」授業の成果を、学生たちによる思いとして株式会社アシックス様にプレゼンテーションする運びとなりました。

本学は、2014年6月、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会と大学連携協定を締結し、その後、「国際理解とキャリア形成」科目の中で、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関する研究を積み重ね、本年で4年連続4回目のプレゼンテーションとなります。

本年の授業は講座「国際理解とキャリア形成」科目において、アクティブラーニング型での授業を実施、今年新たに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のゴールドパートナー(スポーツ用品)である「株式会社アシックス」の協力を受けて、授業を展開しております。

最終プレゼンテーションには、渋谷キャンパス8チーム、日野キャンパス1チームの合計9チームが、株式会社アシックスから提示された「ボランティアウェア」に関するマーケティングについてプレゼンテーションを行い、株式会社アシックス社員の方からフィードバックをいただきます。現在、学生は、商品開発、企画・広報、販売企画の各チームに分かれ、ディカッションをスタートしています。

連携授業を担当する実践女子大学、深澤晶久特任教授は「年々履修者の輪を、本学の学生および他大学へと広げ、東京オリンピック・パラリンピックには数百人単位で臨みたい」と述べています。深澤教授は、2014年5月より、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の「文化・教育委員」に就任いたしております。

本講座は、渋谷・日野キャンパス同時開催という初めての試みであり、渋谷キャンパスは深澤晶久特任教授、日野キャンパスは眞鍋清嗣特任教授が担当として、TV会議で両キャンパスを結びながらの授業を進行しています。

授業内容

- 6月19日(月) 株式会社アシックスの講義「ボランティアウェアの最大化」
(約60分)
- 6月26日(月) グループワーク 1回目 (約80分)
*アイデアフラッシュと方向付け、ディスカッションなど
- 7月03日(月) グループワーク 2回目 (約80分)
*ディスカッションとプレゼンテーション準備
- 7月17日(月) 最終プレゼンテーション (約60分)
渋谷8チーム(38名)、日野1チーム(8名)

つきましては、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、学生たちがどのような「ボランティアウェア」に関するプレゼンテーションを行うのか、学生たちの議論の集大成と、株式会社アシックスからの学生に対するフィードバックに注目して、ぜひ7月17日にご取材をいただきたく、メディアの皆様にご案内する次第です。

記

実践女子大学から株式会社アシックスへのプレゼンテーション

日時：2017年7月17日(月) 4限目 14:45～16:15

場所：実践女子大学 渋谷キャンパス 120周年記念館 403教室
(※当日、変更になる場合もあります。)

以上

プレスリリースおよび本件の取材に関するお問合せは下記へ-----

- 実践女子学園 総合企画部広報担当/山口義憲、林鶴代
電話(042) 585-8804 E-mail:koho-ml@jissen.ac.jp